

令和 7 年度 第 2 回学校運営協議会 議事録

1 第 2 回学校運営協議会概要

日時 令和 7 年10月29日（水）15時～
会場 大阪府立岸和田高等学校 校長室

学校運営協議会委員

近畿大学教授	柴 浩司	様（欠席）
岸城中学校校長	松下 孝徳	様（欠席）
岸城幼稚園長	小野 舞	様
同窓会会長	岸本 敬仁	様
PTA会長	新原 康宏	様
岸和田教育ネット理事長	川崎 正博	様

学校側参加者

校 長	植木 信博
教 頭	田坂 太一
事務長	野村 文博
首 席	伊藤 功士
首 席	鈴木 研太
教 諭（進路指導部長）	長谷川武央

2 次 第

(1) はじめに（司会：教頭）

① 校長挨拶

- ・お忙しい中ご出席いただき、感謝する。今回は、前回お伝えしていたとおり、まずは授業を見学いただいた後、前回の会議以降に実施した学校行事などを含めて、学校経営計画の進捗状況を中心に報告させていただく。

② 学校運営協議会委員の自己紹介

（委員）（小野様）

園児数が減少しており、園児募集に苦戦している。私立では習い事などのオプションが充実している一方、公立では制約が多くある。その中で、公立ならではの良さをどのように発信していくことができるのか課題である。

（委員）（岸本様）

2年後に控えた創立 130 周年の記念事業を契機に、学校の特色をさらに発信していきたいと考えている。一方で、教育無償化により私立志向が強まり公立離れが進んでいるように感じる。これは政策的な問題もあるが、公立の価値をどう示していくか、知恵を出し合う必要がある。

（委員）（新原様）

学校においては、体育祭や修学旅行などの行事を終えたところであり、PTA としては残りの行事についても引き続き協力していきたいと考えている。

（委員）（川崎様）

授業料無償化の影響は大きく、公立の環境整備にも一層の配慮が必要だと考える。知事が泉陽高校の視察で満足していたように、校内美化について他校にも広げていく動きが期待される。また、姉妹校のような関係づくりなど、公立校同士の特色ある連携にも注目していきたい。

③ 本校職員の紹介

(2) 授業見学

- ・15時10分（7限）より、1，2，3年の授業をそれぞれ見学。

1年：地理総合

2年：数学B（文系スーパークラス）

3年：物理（理系スーパークラス）

【授業の感想】

（委員）（岸本様）

板書する機会が少なくなり、ICTを活用した授業スタイルに変化していると感じた。

（委員）（小野様）

ペアワークなど生徒どうしの話し合いが多くあり、メタ認知を育む工夫が見られる。一方で、発言しない生徒もあり、思春期特有の難しさも感じた。

（学校）（校長）

1年の地理総合のように、ペアワークすることを前提に、机をつけて行う授業もある。科目や担当教員によって様々な工夫があり、授業スタイルについては統一的な形はとっていない。

（委員）（新原様）

2年数学（文系スーパー）の授業では、内容が整理されており、生徒の集中が感じられた。

（委員）（小野様）

3年理系スーパークラス（物理）は女子が極端に少なく、進路選択上の偏りが見られた。

(3) 協議

① 学校特色枠について（校長）

【報告】

- ・第1回会議後に提出が求められ、個別にご承認いただいた学校特色枠について、改めて説明させていただく。学校特色枠については、令和10年度入学者選抜から新たに合格者決定の第1手順として設定することが決められた。
- ・学校特色枠は、各校のアドミッション・ポリシーを踏まえ、特に求める具体的な生徒像を提示し、実施区分や募集割合の上限、選抜資料・選抜方法を設定して募集を行うもので、その枠に応募した志願者の中から、求める生徒像に合う者を優先的に合格とする。なお、各校が定める学校特色枠による募集は、各校の総募集人員の10%以上、50%以下となっている。
- ・GLHS10校と方向性をあわせる方針で検討し、この特色枠を大きく活用することはせず、最小の10%で募集を行うこととし、選抜は3教科（国・数・英）のC問題の学力検査の成績に基づき、学力重視で実施することとした。改めて、内容についてご確認いただきたい。

② 学校経営計画の進捗について（校長）

【報告】

- ・（実際に本校 Web ページの Instagram を見てもらいながら）一昨年度から学校広報の一環として Instagram を活用している。特に今年度に入り、フォロワー数が増え、3,400 名を超えた。

【質疑応答】

（委員）（小野様）

どのような形でアップしているのか？

（学校）（校長）

教員4人がチームとなり、投稿を担当している。

（委員）（川崎様）

インスタグラムはより多くの人に学校を知ってもらうためには良い手段だと思う。

【報告】（行事予定表に基づき説明）

- ・文化祭を6月20日（金）、21日（土）に実施した。特に一般にも開放した21日（土）には昨年度を上回る約2,700名の来場があり、とても賑わっていた。
- ・7月末には、JAXAなどを訪問するSSH探究スタディツアー、奄美大島での生物フィールドワークを実施した。今年度はどちらも定員を大きく超える希望があった。今後も生徒の主体的な研究活動を支援していきたい。
- ・7月31日（木）から1泊2日で、東京方面大学ツアーを実施した。今年度も参加者は5名と少なく、今後、希望者が増えるよう工夫を図りたい。
- ・9月11日（木）に文理課題研究発表会（中間発表）を実施した。今年度は府立和泉高等学校の生徒による16本のポスター発表も行った。
- ・体育祭は9月26日（金）に実施した。昨年度の35℃を上回る状況を踏まえ、今年度は暑さ対策として、実施日を1週遅らせるとともに、すべての競技を午前中に終了する形にした。生徒からは「短縮版」との印象があり、次年度に向けた改善が必要との意見が出されている。体育祭と文化祭の実施時期を入れ替える案なども議論されている。
- ・10月21日（火）から3泊4日で台湾修学旅行を実施した。昨年度に続き、4日間雨であったが、無事に終了した。生徒たちの満足度は高い。
- ・10月3日（金）に審査が行われた大阪府学生科学賞について。昨年度、一昨年度と2年連続で最優秀作品賞2本と優秀作品賞1本および学校賞を受賞したが、本年度は優秀作品賞1本のみという結果に終わった。

③ 広報について（鈴木）

【報告】

- ・先ほど校長からInstagramの話もあったとおり、学校における取組や教育活動、そしてその成果などを積極的に発信している。引き続き、広報体制の強化を図っていく。
- ・学校説明会については、本校で実施する「岸高見学会」が6月、8月、11月の3回。なお、8月、11月は2展開で実施している。校外では、府が主催する進学フェア、9地区校長会が主催する合同説明会のほか、みらいカンパニーや泉州私塾連合会が主催する説明会に参加している。

④ 海外研修（GL）について（校長）

【報告】

- ・8月5日（火）～8日（金）の4日間、グローバルリーダー養成プログラム校内版を実施した。本校生徒5～6人のグループに海外からの留学生1人がグループリーダーとして入り、効果的な英語プレゼンテーションについて学ぶとともに、英語を使って複数のテーマに関するディスカッションやプロジェクトを行う「英語漬けの研修」である。今年度は27名が参加した。
- ・7月25日（金）から8月4日（月）の11日間、イギリス研修を実施した。今年度は24名が参加した。プログラムに対する肯定的評価は95%を超えた。
- ・9月23日（祝）には歴史街道推進協議会主催の日本文化体感プログラムが実施され、本校からは4名の生徒が参加した。
- ・1学期期末考査終了後の7月14日（月）から4日間、中国語講座を実施した。1学期期末考査終了後には韓国語講座を実施する。
- ・5月から2月までの期間、木曜日の放課後を活用し、年間16回、ネイティブの教員による「イングリッシュカフェ」を実施している。

⑤ 課題研究発表会について（鈴木）

【報告】

- ・9月11日（木）に文理課題研究発表会（中間発表）を実施した。SSHおよびGL関連の探究活動の成果を発表する場として実施している。今回は、岸高ホールと北選択教室、体育館の3つの会場に分かれ、岸高ホールでは45本、北選択教室では9本、そして体育館では51本のポスター発表を行った。また、岸高ホールでは本校教員による7本のポスター発表、体育館では府立和泉高等学校の生徒による16本のポスター発表も行った。
- ・発表会をとおして、生徒の発表スキルや研究意識の向上が見られた。

【質疑応答】

(委員) (川崎様)

課題研究における和泉高校との関係についてもう少し詳しく教えてほしい。

(学校) (鈴木)

和泉高校ではこれまで総合的な探究の時間の取組が十分でなかった。岸和田の取組ノウハウを共有しながら、今後も交流や連携を進めていきたい。

(委員) (新原様)

学校特色枠の選抜方法の書きぶりは GLHS10 校全体で統一しているのか。

(学校) (校長)

各校で多少異なるところはあるが、方針としては大きく変わらない。学校によっては部活動などを条件に加える場合があるかもしれない。

(委員) (新原様)

「難関大学」とはどのような大学を意味するのか教えてほしい。

(学校) (校長)

おもに京都大学、大阪大学、神戸大学などの大学を意味している。

(委員) (川崎様)

大阪公立大学の人気が高くなっているのは、授業料無償化の影響が大きいのではないのか。

(学校) (校長)

授業料無償化の影響は大きい。大阪大学に合格できるような学力があっても、家から近い大阪公立大学を選ぶ生徒もいる。高い志をもち、学びたい内容を基準に大学を選んでほしいと考えている。

(委員) (岸本様)

大学選択については、5教科型か3教科型かで進路の考え方が変わる。国公立大学のように5教科をバランスよく学ぶ進路も良いと考えている。また、高市氏が神戸大学出身の首相になった例もあり、メディアの早慶志向一辺倒の論調には疑問がある。

(委員) (新原様)

今年度の体育祭(短縮版)では、応援パフォーマンスが最初に行われたことで、お金をかけた衣装もすぐに着替えなければならず、写真撮影も十分にできなかった。

(学校) (校長)

来年度の体育祭の実施内容については、今年度の状況を踏まえ、検討をすすめている。

(委員) (新原様)

岸高見学会の参加状況について、8月は減少し、11月は増加したということか。

(学校) (校長)

8月の岸高見学会については昨年度まで2日間で行っていたものを今年度から1日にして2部制とした。11月は今年度から対象を中学2年生にも拡大したことによるものと考えている。

(委員) (川崎様)

2部制にしたことで内容が薄くはなっていないのか。

(学校) (校長)

内容および説明にかける時間などは変えることなく、岸高ホールでの全体説明とその後の校内見学・部活動見学を並行して行うなど、時間を工夫して実施している。

(委員) (小野様)

椅子の下に荷物を置いているが、生徒によって荷物を入れるかごなどの有無が異なる。環境整備として、全員共通のかごを設けることなどはできないか。

(学校) (校長)

椅子の下に荷物入れとしてのかごの持参を認めているが、生徒によって対応が異なる。ロッカー配置など物理的な制約もある中、今後検討したい。

⑥ その他 (伊藤)

【報告】

- ・ GLHS10 校が共同して実施する取組として、京都大学キャンパスガイド、大阪大学ツアー、GLHS 国内合同研修 (福島)、GLHS 海外合同研修 (サンフランシスコ研修) などがあり、幅広い活動を展開している。
- ・ GLHS10 校間で授業力を高める取組として、「高津高校レジェンド教員の授業見学」が実施された。本校でも同様の取組を広げたい。
- ・ GLHS 指定校として、他校にはできない経験を提供できることが強みであると考えている。
- ・ 3 年間の学びを体系的に整理する「学びのロードマップ」を現在、作成中である。各教科・分野の取組を言語化し、学校全体の学びを「見える化」することをめざしている。

【質疑応答】

(委員) (新原様)

「学びのロードマップ」については、保護者から見えるようにするのは良いことだと思う。

(学校) (伊藤)

難関大学合格のニーズにどう応えるかを踏まえ、一つの指標として機能させたい。

(委員) (岸本様)

歩調を合わせすぎることなく、先行して作成していけば良い。

(委員) (川崎様)

GLHS・SSH の指定校としての取組を、保護者にもっと明確に伝えてほしい。以前、「世界に一番近い GLHS」というキャッチフレーズ (関空に最も近いという意味) を掲げていたが、保護者にわかりやすい発信が必要だと考える。

(委員) (岸本様)

豊中高校は GLHS の指定をきっかけに大きく成長した。岸和田高校も独自の歩みで発展してもらいたい。

3 今後の予定

- ・ 第 3 回 2 月 18 日 (水) 15:00～

4 校長より

本日は長時間にわたり、貴重な意見をいただいたことに感謝する。本日いただいた話を踏まえ、いくつか話をさせていただく。先ほど岸本同窓会長からも話のあったとおり、本校は再来年度、130 周年を迎える。先日も学校、同窓会、PTA の三者が集まり、130 周年記念事業実施に向けた方針を確認したところである。再来年度の実施に向けて、着実にすすめていきたいと考えている。

授業料無償化による影響ということでお話しをいただいた。授業料無償化の流れの中で、また今後の生徒数減少に伴い、今後 15 年間で 32 校が閉校予定という方針も示されている。定員割れが続けば統廃合の対象となる可能性があり、それがさらに公立離れを加速させているのではないかと感じている。さらに、中学校卒業時から通信制を選ぶ生徒が年々増えており、大阪では約 7 %を超える状況にあると聞く。こうした流れの中で、公立高校としての存在意義と魅力を改めて示していく必要があると考えている。